



裁判員に選ばれた時、最初は戸惑いがありましたが、裁判官からわかりやすく説明してもらって、自分が関わっても大丈夫だろうかという不安は無くなっていきました。くじで当たった時は、トータル7日間くらいあったし、外れくじだと思いましたが、当たりくじでした。もし候補者の通知が来た人に会ったなら、ぜひやってくださいと言いたいです。 【50代】

意見交換会の趣旨

裁判員裁判は、施行後10年以上が経過し、多くの国民の皆様を支えられ定着してきています。

今後、裁判員等になれる可能性のある多くの皆様の参考としていただくために、実際に裁判員を経験された方々の経験やそれを踏まえた思いなどを伝えていただきました。

仕事の調整は、前もって期日のお知らせの中に書いてあったので、職場に届出を行うことができました。

法廷では、物的証拠を見て、検察官や弁護人がわかりやすく説明してもらったことを必死に聴いていく中で理解が進みました。

評議では、裁判官が話しやすい雰囲気づくりをしてくれたと思います。広い部屋での評議でしたし、コロナ対策はできていたと思います。 【40代】



裁判員に当たった時は、仕事もあるのに面倒なことになったと思いましたが、上司に相談して、仕事の調整をし、参加しました。そのようにして始まった裁判員裁判でしたが、次第にものの見方が変わりました。それまでは世の中で起こる事件を冷めた目で見ていましたが、人ひとりが事件で亡くなることの重さについて考えさせられました。裁判員になったことは、世の中についての考え方の変わる良い機会でした。 【40代】

福岡地方裁判所小倉支部における

裁判員経験者の意見交換会

開催概要（令和3年11月19日（金）実施）

最初は不安でしたが、途中途中で疑問点がないか確認し、内容を把握しながら法廷に行くことを繰り返して、すんなり裁判に入り込むことができました。自分でも驚くぐらい没頭して裁判を理解していった感覚を覚えています。

評議では闊達に意見交換をして、裁判員6名が裁判官と一体となって話すことができました。

裁判員に関するアンケートで、80%以上がよかったという意見だというのは本当でした。私にとって100%よい経験でした。二度とあのような貴重な経験はできません。若いうちにこのような経験ができて幸運だったと思います。当たったことを誇りに思って参加してくださいと勧めたいです。 【20代】

守秘義務の関係では、仕事との調整において、自分の職場にどのくらい説明してよいのかと気になっていましたが、必要な範囲で説明できると教えてもらい、安心しました。

裁判の内容は、最初は分かりづらかったですが、裁判官がわかりやすく説明してくれました。

自宅に帰ってからも、事件のことが頭から離れず、人間の寿命や運命について、何度も考えてしまいました。

人はそれぞれ千差万別で、人前で話すことが苦手だったり、人前に出ることさえ抵抗がある人もいると思いますが、もし裁判員になるチャンスが来たら、勇気を持って出て欲しいと思います。やめることは簡単ですが、出たことで違った景色が見えてきます。自分にプラスになることが必ずあります。 【60代】



私の勤務先では、以前にも裁判員に選ばれた方がいたため、裁判日程を報告したらすぐに特別休暇の取得が認められました。日程的には、期日がとびとびであったため、職場には迷惑をかけませんでした。連続した日程の方が仕事の的にも気持ち的にもよかったです。裁判官や裁判員との評議の際は、話しやすい環境が整っていて、活発に意見交換できました。法廷でも質問できましたし、参加してよかったです。コロナ対策については、これだけ対応してもらえていれば大丈夫だと思いました。 【40代】



※裁判員に選ばれて（非常に）よい経験と感じた方の割合95.9%（福岡地方裁判所HPから引用）